

登録水先人養成施設外部評価項目一覧(平成28年度版)

(一財)海技振興センター

分類	外部評価項目
1. 養成組織	1 水先人養成組織は、経営主体・水先法上の登録主体である養成施設において、水先人養成の実施に関する教務・学務や庶務関係の実質的な責任主体として機能しているか。
	2 水先人養成組織には、実質的長たる水先人管理者が配置され、運営会議、評価会議等を適切に運営しているか。
	3 水先人養成組織は、海技振興センター支援の受入等に関する実質的な責任主体として機能しているか。
2. 養成体制	1 養成の講師については、水先人が大半を担う体制となっているか。
	2 関連する実務的内容等の講義等については、適切な各実務者等の外部講師を活用しているか。
	3 養成にあたっては、外部の理解及び協力を得ながら外部民間業者を有効に活用しているか。(タグ訓練、代理店研修(見学及び座学)等)
	4 操船シミュレーター運用体制はオペレーター数を含めて適切か。
3. 養成設備・教材・支給品	1 質の高いより効果的な訓練を目指すため、シミュレーターソフトの不断の改善が図られているか。
	2 修業生の安全を十分に考慮した必要な支給品が支給されているか。
4. 養成内容	1 実施した養成カリキュラムは国の基準を満たしているか。
	2 新規・複数の養成を含めて各級ともに、水先業務を実施する上で必要となる知識等の習得に重きを置き、実務・実践的な内容になっているか。
	3 外航商船実習中の修業生(新卒扱いの三級水先修業生)に対し、「船員の常務」を体得させるために実習期間中における明確な目標や課題を提示し、目標達成のための動機付けを行っているか。
	4 操船シミュレーター訓練は、計画通り実施されたか。
	5 以下の外部教育は実施されているか。 1) (全級)タグ訓練 2) (三級(新卒扱))ポートラジオ、その他関連産業における実習
5. 養成品質管理	1 水先人養成組織内の評価会議は自己点検・評価を行い、自律的な改善を行っているか。
	2 訓練教育の標準化をはかる仕組みを講師等が適確に運用しているか。
6. 修業生の管理	1 養成中は修業生に対し逐次の評価を行っているか。
	2 修業生に問題がある場合(素行や能力を含む)には、適切に指導を行っているか。
7. 養成成果	1 国家試験の各級における合格率は筆記・口述共にどうであったか。

外部評価の運用に関する評価 (外部評価委員コメント)

--